

暮らしに役立つ
情報満載



住まいる ニュース

2023
vol.147 2

今月の
特集

日本と海外の 戸建て住宅の違い

日本の住宅の寿命は約30年と言われているのに対し、アメリカやイギリスなどの海外の先進諸国の住宅の寿命は日本の倍以上で、築100年以上の住宅も珍しくありません。そこで今回は日本と海外の住宅事情の違いについて考えてみましょう。

長く住むことで 豊かな暮らしを実現

山林が多い日本では、木材が手に入りやすい環境だということに加え、日本特有の高温多湿な気候に対応するため、通気性に優れた木造建築の技術が高度に発展してきました。そのため、今も昔も日本の住宅は木造建築が圧倒的なシェアを誇っています。

また、戦後の日本は、その場しのぎで住宅を建てるという状況だったため、家は古くなったら取り壊して新しい家を建てるという、建て替えを前提とした考え方が主流となり、それが現代の日本の住宅建築に大きな影響を与えています。

一方、欧米などの海外の先進諸国では、石やレンガ造りの住宅が主流であることの影響などにより、住宅はリフォームしながら長く持たせようという考え方が一般的です。日本では築年数が経てば経つほど資産価値が下がるのに対し、欧米では新築よりも築年数が経過した住宅の方が、資産価値が高くなるとされています。これは、古くなっても問題なく住めるということで信頼度が上がるからだと言われています。

同じ住宅に長く住み続けて子や孫の代まで引き継ぐことができれば、当然、子や孫が住宅ローンに縛られることがないので、比較的自由にお金を使うことができ、自動車を買ったり、

趣味を楽しんだり、子どもの教育や習い事にお金が掛けられるなど、豊かな暮らしをすることが可能になります。寿命が短い住宅では世代が変わるごとに住宅を新築しなくてはならなくなり、いつまで経っても住宅ローンに悩まされることになるのです。

「FPの家」は “超”長期優良住宅

環境保全の考えからも、短いサイクルで住宅を建て替えるよりも、リフォームしながら長く住んだ方が、二酸化炭素の排出量が抑えられるという理由などから、2009年に「長期優良住宅」という制度が設けられ、長期優良住宅の認定を受けると、税制面での優遇措置が受けられるほか、低

金利の住宅ローンに加入できたり、保険料減免や補助金適用などのさまざまなメリットがあります。

長期優良住宅の認定を受けるには、「長期に使用するための構造及び設備を所有していること」「居住環境等への配慮を行っていること」「自然災害等への配慮を行っていること」「一定面積以上の住戸面積を有していること」「維持保全の期間、方法を定めていること」の措置が講じられている必要があります。その点、「FPの家」は、耐震性や劣化対策、省エネルギー性において、長期優良住宅の基準を軽く上回る“超”長期優良住宅です。あなたも住宅性能が変わらず長く住み続けることができる「FPの家」で、快適な暮らしを実現しませんか。



住まいの知恵袋

竣工検査



建物が完成すると、第三者機関が建築基準法に則った建築がされているかを確認する「完了検査」が行われますが、それとは別に、建築工事が完了する直前に施工会社や工事管理者などとともに入主が立ち会って建物の施工

に不具合がないかをチェックするのが「竣工検査」です。竣工検査では、仕様書や設計図面通りに仕上がっているかどうかを確認するのが最重要ポイント。細かな汚れやキズに気を取られすぎて寸法や意匠、仕様の違いなど見落とさないよう、しっかりと確認していきます。検査時には暗い場所や高い場所を確認するためのライトや脚立などを持参し、不具合を発見した場合はマスキングテープなどでマーキングを行い、写真で記憶を残しておきます。

できた！ 簡単DIY

トイレタンク隠しDIY



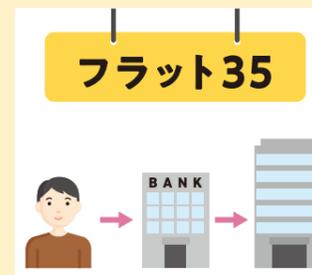
100円ショップで手に入る材料だけで、タンク付きトイレのタンクを隠してタンクレスに変身させるDIYにチャレンジしてみましょう。用意するのは、トイレの左右の壁の距離に合わせたつっぱり棒3本、トイレタンクがすっぽりと隠

れるサイズのプラダン（プラスチック段ボール）、好みのインテリアシートです。まずは、タンク上部の奥と手前につっぱり棒を1本ずつ設置して天板を置く基礎を作り、手前のつっぱり棒に合わせて床から10cmの高さにつっぱり棒を設置して壁の基礎を作ります。次に、タンクの蓋のサイズに合わせて天板となるプラダンを切り抜き、インテリアシートを貼ります。同様に、壁となるプラダンにインテリアシートを貼って、つっぱり棒に貼付すれば完成です。

お金の豆知識

フラット35

民間金融機関と住宅金融支援機構が提携して、最長35年間、金利が固定される住宅ローン。国がバックアップすることで比較的金利が低く設定されるのが特徴です。耐震性や省エネ性、バリアフリー性に優れた住宅にはフラット35の金利を一定期間引き下げる「フラット35S」という制度もあります。



暮らしの1ポイント

雨の水

雨水

空から降る雪が雨へと変わり、雪解けが始まる頃。季節の指標である二十四節気の「立春」の次に当たる2番目の節気で2023年は2月19日。氷が溶けて水になるという意味で、昔から農耕を始める時期の目安とされてきました。雨水に雛人形を飾れば良縁に恵まれるとされており、特に午後が良いとされています。

Dr.住まいる

白木のお手入れ

和室の柱や鴨居に使用されている白木は、日が経つうちに紫外線による日焼けや木の内側から生じるシミやカビ、手アカなどで黒ずんで、白木本来の美しさが失われてしまいます。日常のお手入れの基本はカラ拭きですが、黒ずみが目立つ場合は、お米のとぎ汁に浸して固く絞って雑巾で拭き上げましょう。

